

2013-B										
拠出金・基金の名称	国際農業研究協議グループ拠出金／国際水管理研究所(IWMI)									
種別	(イヤーマーク) ノン・イヤーマーク									
【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際水管理研究所(IWMI)										
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部国際協力課										
【当該任意拠出金の目的・用途等】 食料生産拠点及び産業振興拠点として重要なアジア各国の沿岸地域に対し、近年の異常気象に適応した水管理や施設管理に係る技術支援を行うため、次の事項を実施する。 ・各国の沿岸地域の水管理や施設整備に関する資料収集、及び異常気象によってもたらせられる被害・問題点の分析・整理 ・被害・問題点に基づく支援すべき地域の優先順位の検討、及び自然的・社会的特性などに基づく効果的な手法の類型化 ・沿岸地域の持続的農業農村開発のための効果的な支援方針の取りまとめ及び支援マニュアルの作成										
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】										
単位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)					
平成25年度	23,974	292	-	1米ドル = 82円	100					
平成24年度	26,763	330	-	1米ドル = 81円	100					
平成23年度	21,560	242	-	1米ドル = 89円	100					
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・2008年には、IWMIの業績が傑出しているとして世界銀行から評価された。この評価は15のCGIAR傘下の研究センターのうち、IWMIを含む4機関にしか与えられていない。2010年には、CGIARが選ぶ最優秀研究者にIWMI職員が選ばれた。さらに、2012年にはストックホルム水大賞をIWMIが受賞している。このような業績の評価から見ても、IWMIは水分野における国際的な専門研究機関として、重要な役割を果たしていると評価できる。 ・外部評価の継続的実施、業績評価の定着等により組織改革・組織運営改革を推進・進展させ、所要の見直しを実施している。2011年より、CGIARは研究テーマを絞って7つのメガプログラムを開始し、そのうちIWMIは水と土地利用のテーマについて取りまとめを行っている。また、2014年より5年間の中期研究戦略2014-2018を策定し、A water-secure worldをビジョンに掲げ、水に関わる問題の解決策の提供していくこととしている。										